注目! TOPICS ①

令和８年度海外都市行政視察報告

台湾に学ぶ未来のまちづくり



現在、地方自治体には、人口減少・少子高齢化への対応、グローバル社会に対応した教育環境の充実、デジタル技術を活用した住民利便性の向上など、多面的な都市課題への迅速な対応が求められています。台湾では近年、行政の強いリーダーシップのもとで、持続可能なまちづくりに向けた様々な先進的な取組みが展開されています。それらの先進事例を調査し、本市のまちづくりに活かしていくため、行政視察を実施しました。

視察先 台湾（屏東市、屏東県、台南市、雲林県、台北市）

日程 令和８年７月５日～７月９日

参加議員 山田 学、下向 智恵子、原田 栄二

① 千禧公園・屏東県民公園【屏東市】

まちづくりの核としての公園整備について

自然工法による生態型公園と、旧工場跡地を再生した産業遺産再生型公園。自然環境の保全や産業遺産の再生、河川の水質改善などを一体的に進め、都市の課題解決や地域の価値向上につなげる公園整備等について視察しました。



ポイント
- 都市課題を解決する公園整備
- 歴史的遺産の観光資源化
- 点から面へのまちづくり

② レジャー農業区【屏東県】

地域の組織化による六次産業化と滞在型観光について

熱帯フルーツの一大生産地で、農業と観光を融合した六次産業化を進める地域。複数の農家や民宿、農村レストランが連携した地域の組織化や、宿泊を伴う滞在型観光、行政による伴走支援の取組み等について視察しました。



ポイント
- 地域一体の組織化
- 一体的なブランディング
- 滞在型観光による農家所得の向上

③ 国立南科国際実験高校【台南市】

産業集積を支える公立国際学校とICTを活用した人材育成について

産業拠点地区内に設置され、産業と教育を結び付ける公立国際学校。英語中心のグローバルな学びやICT環境の整備、日本の高校との交流など、産業集積を支える次世代の人材育成について視察しました。



ポイント
- 産業集積と一体となった学校づくり
- 公教育の国際化
- 選ばれる教育環境の構築

❹ 建国国民中学校【雲林県】

地域の組織化による六次産業化と滞在型観光について

地元産の有機食材を活用し、自校調理方式で給食を提供する学校。有機食材を使った学校給食や、産地・認証を確認できる仕組み、農業や環境、生産者への理解を深める食農教育、官民連携による支援等について視察しました。

ポイント
- 官民連携による給食の充実
- 食の安心と透明性の「見える化」
- 食育と地産地消の一体的な推進



❺ 台北市投資サービスオフィス【台北市】

ワンストップの企業誘致と進出後の伴走支援について

国内外の企業誘致から進出後の定着支援までを一貫して担う台北市の専門機関。行政手続や関係部署との調整を行うワンストップ支援、積極的な企業誘致活動、進出後の課題解決まで継続する伴走支援等について視察しました。

ポイント
- 進出後まで続く伴走支援
- 産学官をつなぐネットワークづくり
- 企業や人材に選ばれる都市環境の整備



❻ 台北スマートシティ実証（TPMO）【台北市】

行政課題を起点としたPoC（概念実証）によるスマートシティの推進について

行政課題と民間企業や大学等の技術を結び付けるスマートシティ推進組織。小規模な実証で効果を検証し、成果を確認した上で本格導入する新技術の社会実装について視察しました。

ポイント
- 行政課題を起点とした技術活用
- 小さく始める段階的な実証
- 産学官連携による社会実装



❼ 台湾日本関係協会【台北市】

表敬訪問・意見交換

日本との交流や協力を担い、地方自治体を含む幅広い草の根交流を支える重要な窓口。台湾の長期的な国家戦略や教育、少子化などの社会課題について説明を受け、相互に学び合う意義や今後の東広島市と台湾との交流・連携について意見交換しました。

ポイント
- 長期的なビジョンに基づく政策推進
- 新たな取組みに挑戦する姿勢
- 台湾との相互理解と信頼関係の深化



まとめ

台湾では、都市・産業・教育など幅広い分野で、将来を見据えた先進的な取組みが着実に進められていました。

今回の視察で得た多くの学びや知見が本市の政策として具体的な形となるよう、今後の政策提言や議会活動に活かしていきます。

今回の視察で見えた３つの視点

- 長期的ビジョンを持ち継続的に実行する姿勢
- 産学官民連携のプラットフォーム
- 「点」ではなく「面」で捉える発想

詳しくはこちら

海外都市行政視察報告

注目! TOPICS ②

高校生と東広島市議会の意見交換会

議員としゃべろう！ 【前編】
～高校生×東広島市議会class～



東広島市議会では、若い世代の声を議会活動に活かすとともに、議会や地域への関心を持ってもらうことを目的に、議員が高校を訪問して意見交換を行う「議員としゃべろう！～高校生×東広島市議会class～」を実施しています。各学校の特色や希望に合わせて方法を工夫し、対話を行っています。

今年度は市内４校で実施予定で、今回は河内高等学校と近畿大学附属広島高等学校での取組みを紹介します。

実施日 7/13（月）

広島県立河内高等学校

意見交換テーマ
「住みやすいまち」

２年生36人が参加し、「住みやすいまち」をテーマに、４つのグループに分かれて意見交換を行いました。

地域の生活環境や交通、学校生活のことなど、生徒の皆さんが日頃感じている身近な課題について、活発な対話を交わしました。高校生ならではの視点から、多くの提案や意見が寄せられ、議員にとっても地域課題を考える貴重な機会となりました。









高校生からの主な意見

交通・通学環境
- 自転車道や歩道がないので安全に通学できる環境づくりを
- 市中心部の交通渋滞を改善してほしい

地域の生活環境
- 河内駅周辺に若者が集まれる場所がほしい
- 景観維持にもっと力を入れてほしい

学校・教育環境
- 部活動環境を充実させてほしい
- 河内高校は先生も信頼でき環境もいい。この学校を選んでよかった

防災・防犯
- 災害時における避難所設備の充実を
- 地域の防犯対策や夜間の安全確保を強化してほしい

参加した高校生の声（アンケート回答より抜粋）

- まちの課題について意見交換して、東広島市に対する関心が高まった。
- ちょっとした意見でも真剣に聞いてくれて嬉しかった。
- 自分の意見が１つでも市政に反映されたらいいなと思った。



議員の声

- 学生の意見を学校や行政に伝える仕組みがあればいいという意見が印象に残った。
- 市とは異なる若者ならではの視点からの課題に気づくことができた。
- 地域をよく観察し、身近な課題を自分事として捉えていたことが印象的だった。



実施日
7/21
（火）

近畿大学附属広島高等学校東広島校

意見交換テーマ
「魅力あふれる
まちづくり」

１～３年生の希望者21人が参加し、「魅力あふれるまちづくり」をテーマに意見交換を行いました。

生徒の皆さんは関心のある分野ごとにグループをつくり、事前の取材・調査をもとにスライドで発表。その内容について議員と活発な意見交換を行いました。

交通や教育、環境、若者の居場所づくりなど、高校生ならではの発想や調査に基づく多彩な提案が発表され、地域の未来について幅広い議論が行われました。









高校生からの提案発表

若者が遊べる場所を作ろう！
若者向けスポットが集まる「のん太通り」整備

学校で行われるごみ分別
学校での分別促進で環境意識向上

若者が暮らしやすいまちづくり
街灯の増設・LED化、公園の新設と改修

スポーツパークをつくろう！
誰でも使えるスポーツ公園の整備

町の文化財から考える教育と人口流出の緩和
地域文化の交流会でシビックプライド※醸成

東広島市の交通問題
道路の安全確保やバス増便、竹原市との合併

道路について　―自転車　my　way―
自転車が安全に通行できる道路整備

公立学校の教育機関
学びの環境維持と教育の充実

参加した高校生の声
（アンケート回答より抜粋）

・私たち自身がまちのことについて考えることがとても大切だと思った。
・同じ市の中でも多様な意見を持った人がいることがよく理解できた。
・議員さんの柔軟で深い意見を聞くことができてよかった。
・質問や提案に優しく答えてくれて、本当に参加してよかったと思った。



議員の声

・高校生が主体的に「どうすれば市が良くなるか」を考える姿を頼もしく感じた。
・今回の提案を何らかの形で施策につなげることで、地方自治への参画をより実感してもらいたい。
・若い世代の意見を聞くだけでなく今後の政策につなげていくことが市議会の役割だと再認識した。



次号予告

今年度は４校で実施します！

残る２校の様子は２月号で紹介予定！

高校生の皆さんの声をこれからも聞いていきます



詳しい報告書はこちら